



6/27 シーズン開幕!プレーオフ進出を目指して!

7月に開幕する日本ハンドボールリーグを目前に控えた、琉球コラソンの水野裕矢代表や東江正作監督、東江太輝キャプテンが市長を表敬しました。

昨シーズンの報告と、今シーズンの意気込みを話した水野代表は「外国人メンバーを含めた新たな体制で開幕に臨みます。ANA ARENA 浦添会場では11月12日、23日の2日間試合を行いますので、ぜひ会場に足を運んで応援をお願いします」と呼びかけました。松本市長は「開幕を楽しみにしています。昨年より1勝でも多く、また1つでも上位を目指して頑張ってください。私も応援に行きます」と激励しました。



7/10 海水浴シーズンに向け、救助訓練

浦添市消防本部では、毎年水難事故が起こりやすくなる時期に備えて救助活動訓練を行っており、今年は7月6・10・11日の3日間にわたって実施されました。

円滑な救助活動を行うための「連携」の強化を目的に、海で人が流されていると通報を受けたことを想定し、本署・内間・牧港の署所合同で「部隊の運用」「指揮命令」を意識した訓練が行われました。

名護晃消防署長は「海岸での事故は正確な場所の特定や状況把握が難しい。現場でも迅速な対応が取れるように、情報共有の手順や関係機関との連携方法など、改めて確認していきたい」と話しました。



6/21 異国の文化に触れあって

友好都市締結35周年を迎える、中国泉州市の泉州師範学院附属小学校の児童との交流会が行われ、今年は前田小学校6年生がオンラインで交流しました。

交流会では、両市の紹介やお互いの伝統行事、学校生活の説明や質問を通して交流を図りました。また、今回は中国の伝統行事「端午節」の時期に合わせて開催したことから、その行事の代表的な食べ物である「ちまき」の折り紙を泉州市の先生に教えてもらいながら、全員で工作するなど楽しい時間を共有しました。

交流会の後、子どもたちは「楽しかった」「折り紙が難しかったけど完成できて良かった」と笑顔で話しました。



6/23 これからも平和を求め、継承していく

慰霊の日に合わせて、浦添市史の編集に携わった沖縄国際大学の石原昌家名誉教授を講師に招き、「平和講演会～戦場になった浦添～」がてだこホール市民交流室で開催されました。

編集で実施された「浦添方式」と呼ばれる実態調査によって、戦争で亡くなったことさえ記録されなかった人の名前や人数がわかったり、大正時代に浦添で行われた軍事演習が、31年後の沖縄戦で現実となったことを聞き、参加者は驚きを隠せない様子でした。講演前には、4人の中学生ピースメッセンジャーが平和メッセージを朗読し、平和の大切さを伝え、平和な世界を心から願う機会となりました。



7/9 どこにもないステキな市場を目指して

経塚ゆいまーるセンターで毎月開催される「ちょーじか結いまーる市場」。7月9日の会場では、食品ロス削減に取り組むフードドライブや野菜市、アダンの葉でプレスレットを編むコーナーなど、さまざまなブースに多くの人が賑わいを見せました。

経塚児童センターで育てた野菜を購入した利用者は「とても良い取り組みだと思います。よく利用しますが毎回楽しみです」と話しました。

10人ほどから始まった「小さな朝市」は、ゆいまーるセンターの各施設利用者や支援者が集い、地域の繋がりをつくる「マーニンネーラン(どこにもない)市場」を目指す取り組みに発展しています。



6/16 浦添で世界一周体験! 初回はアジア旅♪

第1回ふれあい講座(アジア編)が、浦添市前田にあるJICA沖縄センターで行われました。「ふれあい講座」は、JICA沖縄と浦添市国際交流協会が共催している講座で、外国の研修員と交流する市民参加型のイベントです。

当日は雨模様でしたが、子ども連れのファミリーをはじめ、大勢の人が集まり交流しました。

今回は、パラオ、ベトナム、スリランカ、カンボジア、タイの研修員が、クイズで各国のあいさつや料理を紹介。参加者からは「あいさつが短い国もあるし、長い国もあった」「研修員の人を家に受け入れたい」など、それぞれの国際理解を深めました。次回は、8月18日(金)午後7時から開催されます。

＼ 話題がいっぱい /

なかゆくい

市内各地で行われたイベントや、まちの話題をお届けします。ここで“なかゆくい”しませんか。(なかゆくい＝ひと休み)

市ホームページ「うらそえトピックス」にも市内のできごとを紹介しています。



6/16 ありのままのあなたで。次世代へ発信!

浦添中学校の全学年を対象に「性の多様性啓発講座」を行いました。本講座は、多様な性のあり方について理解を深め、自分らしく生きることの大切さを伝えることを目的に、市内公立中学校に講師を招いて開催しています。

講師の宮城里沙さんは、自らの人生経験を踏まえ「自分のことも周りの人のことも認めてあげて、みんながありのままの自分でいられる環境が大切」とメッセージを送りました。質疑応答では、宮城さん自身のことや学校の取り組みに関することなど、さまざまな質問が上がり、生徒の積極的な姿勢が見られました。